



2024年5月14日

各位

会社名 株式会社ウイルプラスホールディングス
代表者名 代表取締役社長 成瀬 隆章
(コード番号：3538東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役 経営戦略本部長 宇田川 宙
(TEL. 03-5730-0589)

2024年6月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年5月14日付の臨時取締役会決議に基づき、以下のとおり、最近の業績動向等を踏まえ、昨年2023年8月14日に開示した2024年6月期の通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想修正について

(1) 2024年6月期通期連結業績予想の修正 (2023年7月1日～2024年6月30日) (単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社に帰属する 当期純利益	1株当たり連結 当期純利益
前回発表予想 (A)	48,821	2,312	2,303	1,692	174円 04 銭
今回修正予想 (B)	47,712	1,285	1,352	890	91 円 26 銭
増減額 (B-A)	△1,109	△1,027	△951	△802	—
増減率 (%)	△2.3	△44.4	△41.3	△47.4	—
(参考) 前期連結実績 (2023年6月期)	44,116	1,867	1,944	1,302	135円 45 銭

(2) 修正の理由

期初予想では、世界的な半導体不足解消に伴い、新車供給が回復していく中、新車販売台数の大きな伸びを見込んでおりました。また新車販売価格につきましては、急激な円安に歯止めがかかることで、緩やかに下落していくことを見込んでおりました。しかし今期に入り、更なる円安や海上輸送に問題が発生することで、輸入新車価格は高止まりし、お客様の様子見姿勢が続きました。コロナ禍の終了に伴い、「モノ消費」から「コト消費」へのシフトも重なり、輸入車の新車販売台数は、業界全体に厳しい状況に陥りました。

当社につきましても、新車販売台数は厳しいものの、車輛売上単価は期初想定を上回ったため、売上高につきましては、僅かな下方修正にとどまっております。

利益面では、新車販売台数の未達に伴う販売奨励金の低下や車輛整備事業における労務費増により、売上総利益は期初予想を下回る予定です。

想定を上回る車輛単価の上昇は、社有車（主にデモカー）の減価償却費の増加をもたらし、販売管理費が期初予想を超えた一つの要因となり、人的資本経営推進施策実施も販管費を押し上げる要因になりました。国内輸入車市場が厳しい中、業界再編（資本集約）が加速しております。当社につきましては、この動きをチャンスと捉え、M&A関連費用が増えていることも利益を押し下げる要因となっております。

これらの結果、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を大きく下回る見通しです。一方で、ストック型ビジネスである車輛整備及び保険代理店事業につきましては、堅調に推移いたしました。

尚、配当予想につきましては、中長期株主還元戦略の下、「適正資本の維持」及び「中長期的にROE15%達成」目標に則り、期末配当予想は、修正いたしません。

以上